

〔ねらい〕

- 画の長さや接筆に気をつけて書く。
- 中心に気をつけて書く。

〔指導のポイント〕

「川」… 三本の縦画の長さの間隔がポイントです。三本の縦画の「方向」と「間隔」に注意して書く。

一画目：左斜め下にゆったりとはらいます。始筆（筆の入り）はななめ45度を意識し、最後は筆先を整えながら静かにはらわせます。

二画目：一画目よりも少し高い位置から書き始め、まっすぐ下に下ろします。最後は「とめ」をしっかり行いましょう。

三画目：三本の中で最も高い位置から書き始めます。二画目と同様にまっすぐ下へ運び、最後は力強く引き抜くように「はらい」ます。

画の間隔：一画目と二画目、二画目と三画目の間の広さが等しくなるように配置すると、安定した美しい字形になります。

「上」…縦画の「立て方」と、二本の横画の「長さの違い」を意識して書く。

一画目：縦画を力強く、まっすぐ下に書きます。文字の中心を通るように意識させましょう。

二画目：一画目の真ん中より少し低い位置から、右へ短く書きます。少し右上がりに書くと、形が引き締まります。

三画目：どっしりと長く書き、文字全体を支えます。始筆は二画目よりも左から入り、終筆は二画目よりも右側まで伸ばします。

組み立て：全体として「三角形」のような形に収まるよう意識させると、バランスが取りやすくなります。



児童への声掛け（リズム指導）例

「川」：「ななめー・はらい」
「まっすぐ・とめ」
「いちばん高く・すーっ」

「上」：「まんなか・ピタッ」
「みじかく・トン」
「ながーく・どっしり」

筆の軸は回さずに、筆圧をゆるめないで筆を運ぶ。

☆ 穂先はいつも同じ方向を向いています。



穂先の向きは約45°



☆ 穂先はいつも同じ向きです。



穂先の向きは約45°

